

商船三井の洋上データセンター事業構想

～発電船による電力供給との組み合わせ～

— 講師 — 株式会社商船三井 LNG・エタン事業群
LNG・エタン第三ユニット長 馬田 親輔 氏

日時 2025年10月30日(木) 午後1時～3時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

[重点講義内容]

世界の DC 需要は生成 AI や動画配信を背景に急増しているが、都市圏では土地不足や電力不足、さらには冷却に使用する水不足の顕在化により、供給が追い付かない状況にある。この構造的課題に対し、商船三井は中古船を改造した浮体式データセンター (Floating Data Center) により、社会に不可欠となる新たなデジタルインフラの提供を提案する。

世界最大級の船隊規模や、FSRU (浮体式ガス貯蔵・再ガス化設備) や発電船事業で培った知見・ネットワークを組み合わせ、電力供給からデータセンターの運営まで一気通貫でサービスを提供し、成長市場での新たな価値創出を目指す。

1. データセンター (DC) 市場の現況と足元のトレンド・課題
2. 商船三井による FDC のビジネスモデル
3. 商船三井による発電船事業の取り組み
4. FDC の設計・建造コンセプト
5. FDC の地域・国別ユースケース
6. 今後の展望
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 馬田 親輔 (うまだ しんすけ) 氏

2000年に国内航空会社に入社後、2007年(株)商船三井入社。LNG 船部門他での業務経験を経て2012年より海洋事業部門に異動。以降、途中シンガポールでの駐在も含め、10年以上FSRUを始めとするLNGインフラ事業に携わる。2023年に液化ガス事業群(現LNG・エタン事業群)第三ユニット長。

